

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（「現代の国語」筑摩書房）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	領域			評価規準	該当に○			配当 時数
		話・聞	書	読		知	思	態	
〔単元名〕問うこと、語ること 「境目」川上弘美 「サイエンスの視点、アートの視点」斎藤亜矢 ・言語の持つ役割について学び、社会問題や文化に対して問題を提起する力を身につける。	(1) ・話し言葉と書き言葉の特徴、役割を踏まえ、適切な表現委について理解する。 ・主張、論拠、情報の関係について理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】実社会から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集・整理して伝え合うことができる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
〔単元名〕評論文への招待 「デジタル社会」黒崎政男 ・対比や具体例、引用などの手法を理解し、論の構造を把握して筆者の主張を読み取る。	(1) ・比喩、例示、言い換えのなどの修辞について理解する。 ・推論の仕方を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
定期考査									1
〔単元名〕評論文への招待 「ことばとは何か」内田樹 ・対比や具体例、引用などの手法を理解し、論の構造を把握して筆者の主張を読み取る。	(1) ・比喩、例示、言い換えのなどの修辞について理解する。 ・推論の仕方を理解し、使うことができる。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
〔単元名〕ことばで伝える思いと 考え 「身体、この遠きもの」鷲田清一 ・具体例から抽象的な主張への論理展開を把握し、筆者の主張を読み取る。	(1) ・具体例と主張の関係を把握する。 ・具体例を活用した文章を書く力身に着ける。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
〔単元名〕情報と推論 「わかっていることと知らないこと」堀正岳 「非連続型テキスト」の読解と活用 の仕方について考える。	(1) ・グラフや図表と文章を関連付けて、筆者の主張を読み取る。 ・目的に応じて情報の提示の仕方を工夫する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。 【思】文章や図表の情報を関係付けて筆者の意図を解釈できる 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
定期考査						○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	領域			評価規準	該当に○			配 時 数
			話 聞	書	読		知	思	態	
2 学 期	〔単元名〕「話し合い」から「議論」へ 「(私)時代のデモクラシー」宇野重規 現代社会の特質についての筆者の考えを理解し、自らの考えを議論できるようにする。	(1) ・主張と論拠の関係について理解する。 ・論点を共有し議論の目的に応じて結論の出し方を工夫する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
	〔単元名〕「根拠」から「主張」へ 「魔術化する技術」若林幹夫 論の展開を整理し、結論の理解だけでなく、筆者の主張の丁寧に読み解く。	(1) ・抽象的な議論の展開を丁寧に読み解く。 ・社会の問題を言語化し、議論できるようにする。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	〔単元名〕「根拠」から「主張」へ 「マルジャーナの知恵」岩井克人 論の展開を整理し、結論の理解だけでなく、筆者の主張の丁寧に読み解く。	(1)・抽象的な議論の展開を丁寧に読み解く。 ・社会の問題を言語化し、議論できるようにする。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
	〔単元名〕伝えること、受け止めること 「記憶する体」伊藤亜紗 情報社会の現状を認識し、他者との向き合い方について考える。	(1) ・個別の情報と一般化された情報の関係について理解する。 ・情報と個々の認識について考え、他者との対話につなげる。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
〔単元名〕表現のみがき方 「贅沢の条件」山田登世子 ・社会問題を自分たちのこととして読み取り、自身の考えを明確に伝える手法を学ぶ。	(1) ・筆者の考えを的確に理解し、自分の問題として読み取る。 ・二項対立の手法を用い、独自の考えを明確に伝える。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5	
定期考査						○	○		1	
3 学 期	〔単元名〕主張の論理的な伝え方 「来るべき民主主義」國分功一郎 問題の設定の仕方や援用について理解しながら、政治についての議論を的確に読み取る。	(1) ・他者の論を援用しながら自己の論を展開する方法を理解する。 ・社会に対する問題意識を持ち、政治の意味を考える。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。 【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	5
	〔単元名〕複眼的な視点 「開かれた文化」岡真理 「リスクと近代社会」大澤真幸 論理的・分析的な読解を通して、自己を相対化する視点を身に付ける。	(1) ・キーワードの指す内容を正確に捉え、筆者の主張を理解する。 ・同じ主題を異なる観点から捉え直し、複合的な視点を構築する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】語句や語彙の構造や特色、用法を理解する。 【思】文章の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨や要点を把握できる。【主】教材内容に関心を抱き、他者の意見を聞き、ものの見方、考え方を深めている。	○	○	○	10
定期考査						○	○		1	

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～ H組

使用教科書：（「精選 言語文化」（明治書院））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	領域			評価標準	該当に○			配当 時数	
		話・聞	書	読		知	思	態		
1 学期	〔単元名〕古文入門 「児のそら寝」 説話の面白さを味わう。 文語の決まりを理解し、古文に親しむ。歴史的仮名遣いを理解し、古文を音読する。	(1) ・歴史的仮名遣い ・古語と現代語の相違 ・五十音図 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考えを広げて言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕古文入門 「絵仏師良秀」 説話の面白さを味わう。 文語のきまりを理解し、古文に親しむ。	(1) ・文・文節・単語、品詞を理解する。 ・古語辞典の活用を学ぶ。 ・動詞の活用を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材				【知】文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考えを広げて言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1	
	〔単元名〕物語1 「竹取物語」かぐや姫の生ひたち ・竹取物語の概略を理解する。 文語文法、古語の意味を的確に把握し、内容を理解する。	(1) ・用言の活用を理解する。 ・係り結びの法則を理解する。 ・古文の常識を理解し、内容理解につなげる。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考えを広げて言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	7
	〔単元名〕漢文入門 故事成語 「朝三暮四」 ・漢文学習の意義、訓読法について理解する。 ・漢文の基本構造を理解する。	(1) ・書き下し文に直し、訓点が施せるようにする。 ・句法（疑問）を把握し、内容に理解につなげる。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】漢文の構造や、漢文特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考えを広げて言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	7
〔単元名〕随筆 「徒然草」 亀山殿の御池に ・筆者のものの見方、感じ方を読み取る。 ・文語助動詞の種類と用法を理解する。	(1) ・助動詞の意味用法を理解する。 ・文法を踏まえて文章を読み取り、筆者の主張を理解する。 (2)教科書、副教材、ICT教材	○	○	○	【知】文語のきまりや、古典特有の表現などについて理解する。 【思】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主】言葉を通じて他者や社会と関わろうとし、自らの考えを広げて言葉を効果的に使おうとしている。	○	○	○	7	
定期考査					○	○		1		

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理総合

教科：地理歴史科 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（「地理総合」東京書籍）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本や世界の歴史の展開を理解し、調査や資料から様々な情報を適切で効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的に考察し、社会の課題解決にむけて構想する力や、考察・構想したことを効果的に説明し、議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決する態度を養い、多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚や国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する姿勢を育てる。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関する諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解させる。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的に考察し、課題の解決に向けて構想させる。 考察や構想したことを効果的に説明したり、議論できるようにする。	知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けることに向けた粘り強い取り組みを行わせる。 地理に関わる諸事象について、そこで見られる課題を主体的に解決できるようにする。 多面的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚や国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する姿勢を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
			知	思	態	
〔単元名〕私たちが暮らす世界 ・緯度と経度の違いが、私たちの生活にどのような影響を与えているのか理解させる。 ・地球儀と世界地図の違いを理解させ、用途に応じて適切に利用できるようにする。 ・日本の位置と領域を理解させ、排他的経済水域の重要性を考えさせる。	(1)ガイダンス、緯度・経度のちがいと生活、地球儀と世界地図の使い方、日本の位置と領域や排他的経済水域、 (2)教科書、地図帳、フォトグラフィア地理図説、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査用ノートパソコン又はスマートフォン、地球儀、地図	【知】世界地図や地球儀での表現方法や日本の位置や領域についての基本的事項を理解している。地図や統計などの資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】地球上の位置に関する事項について、緯度・経度や世界地図、地球儀や領域の特徴をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】地球上の位置に関する事項に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
〔単元名〕地図や地理情報システムの役割 ・様々な地図の存在を理解させ、地図利用の可能性を考えさせる。 ・地形図や地理院地図の特徴を理解させる。 ・主題図の表現方法の特徴を理解させ、用途に応じた使い分けについて考察させる。 ・GISとは何かを理解させ、活用の可能性を考えさせる。	(1)地図と地理情報システム、地形図と地理院地図、主題図の活用、GIS (2)教科書、地図帳、フォトグラフィア地理図説、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】地図についての基本的事項を理解し、その知識を身に付けている。地図や統計などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】様々な地図について、縮尺や用途に着目し、適切に整理している。様々な統計数値を、適切な主題図で表現している。GISを操作し、主題図を表示している。 【主】紙の地図やGISに対する関心を高め、閲覧や作業を通して特徴をとらえようとしている。	○	○	○	5
〔単元名〕資料から読み取る現代世界 ・交通や通信網の整備や人・モノ・情報の移動に関して図表の読み取りから理解させる。 ・地域経済圏や国家群がどのように形成され、現状はどのような状態にあるかについて図表の読み取りから理解させる。 ・国境をこえた経済活動や政治的つながりが、人・モノ・情報などのやり取りに大きく影響を及ぼしていることに注目し、グローバル化の進展について課題意識をもって考察させる。	(1)交通の発達、情報通信の発達、国境をこえる人々の移動、拡大する貿易、つながる世界、多様化する世界 (2)教科書、地図帳、フォトグラフィア地理図説、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】交通・通信技術の発達と国境をこえた様々な結び付きについて、基本的な事項と追究の方法を理解し、その知識を身に付けており、地図や統計などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】交通・情報通信が国家をこえて結び付き、その結び付きがますます強固になっていることやグローバル化の拡大について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】交通・通信の発達やグローバル化による社会変化と、それによる問題に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
2 学期	〔単元名〕生活文化の多様性と国際理解 ・世界には多様な文化が存在し、近年それが均一化する傾向にあることを理解させる。 ・文化は持続することもある一方で、変容することもあることを理解させる。	(1)文化の地域性と多様性、宗教と人々の暮らし (2)教科書、地図帳、フォトグラフィア地理図説、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】世界にみられる多様な文化について、基本的な事項と追究の方法を理解し、その知識を身に付けており、地図や統計などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】地域の文化や文化の違いがなぜ生じるかについて、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	3
	〔単元名〕生活文化と自然環境 ① 地形 ・地形が地域によってどのように異なるのか、そのことが人々の生活にどのように影響を与えてきたのかを考察させる。	(1)山地の暮らし、平野の暮らし、海岸の暮らし (2)教科書、地図帳、フォトグラフィア地理図説、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】さまざまな地形における人々の暮らしについて、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事項を理解し、その知識を身に付けている。 【思】さまざまな地形における生活の工夫や独自の文化について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】さまざまな地形における文化や産業の形成とその重要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕生活文化と自然環境 ② 気候 ・気候が地域によってどのように異なるのか、そのことが人々の生活にどのように影響を与えてきたのかを考察させる。	(1)多様な気候の分布、熱帯の人々の暮らし、乾燥帯の人々の暮らし、温帯の人々の暮らし、亜寒帯・寒帯の人々の暮らし (2)教科書、地図帳、フォトグラフィア地理図説、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】さまざまな気候における人々の暮らしについて、写真や図表の読み取りなどを通じて基本的な事項を理解し、その知識を身に付けている。 【思】さまざまな気候における生活の工夫や独自の文化について、多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】さまざまな気候における文化や産業の形成とその重要性について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	〔単元名〕さまざまな地球の課題と国際協力 ・地球環境問題の背景と影響を理解させ、解決策を考察させる。 ・資源・エネルギー問題の特徴を理解させ、生産と消費の在り方を考えさせる。 ・人口問題や居住・都市問題について発展途上国と先進国とに分けて、問題が発生する背景や特徴を理解させ、解決策を考察させる。 ・食料問題の地域的な特徴や問題が生じる背景について理解させ、解決策を考察させる。 ・民族問題の現状と背景を理解させ、改善に向けての取り組みを検討させる。	(1)地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題、民族問題 (2)教科書、地図帳、フォトグラフィア地理図説、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事項を理解し、その知識を身に付けており、地図や統計、画像などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	
3 学期	〔単元名〕自然環境と防災 ・日本列島の自然環境の特徴と各地域で発生する自然災害の関係性について、世界的視点から考察させる。 ・日本列島のさまざまな自然災害の発生要因について自然環境や社会環境との関わりから考察させる。 ・自然災害が人々の生活や社会全体へもたらす影響について多面的に考察させる。 ・自然災害が人々の生活や社会全体にもたらす影響をふまえ、防災・減災対策と災害に強い持続可能な地域づくりのあり方について考察させる。	(1)地震災害・津波災害、火山災害、気象災害、都市と自然災害、防災・減災と復旧・復興 (2)教科書、地図帳、フォトグラフィア地理図説、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査・閲覧・まとめ用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】日本列島の自然環境と大きな被害をもたらす自然災害についての基本的な事項と追究の方法を理解し、その知識を身に付けており、地図や統計、画像などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】日本列島の地形や気候と自然災害、防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 【主】日本列島の豊かな自然環境と自然災害や防災に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕生活圏の調査と地域の展望 ・地域調査の手順や具体的な方法を理解させ、身近な地域において地域調査を実践させる。	(1)地域テーマの設定、資料調査、野外調査、まとめと発表 (2)教科書、地図帳、フォトグラフィア地理図説、統計資料集、ワークブック、授業用プリント、ノート、調査時に入手した資料、調査・閲覧・まとめ・発表用ノートパソコン又はスマートフォン	【知】地域調査の手順や注意すべきことを理解し、地図や統計、画像などの資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 【思】身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかになったことを適切に表現している。 【主】身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 地理・歴史 科目 歴史総合

教科: 地理・歴史 科目: 歴史総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第1学年 A組～H組

使用教科書: (『現代の歴史総合』山川出版社)

教科 地理・歴史 の目標:

- 【知識及び技能】 世界をグローバル化の中で捉え、身近な諸課題でもある、冷戦以降の国際関係や高度情報通信社会、感染症、様々な人々との共存の理念などを歴史的な知識とともに理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 今現在の私たちにつながる歴史の中にある諸課題を考察し、地球の一員としてどう捉え、どう解決し、生活していくのかを考え、他者に伝え、表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を、自分の身近なこととして体的に学び、解決に導こうとする姿勢を育てる。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・定期考査、小テストを行って知識の理解度を測る。 ・資料を用いて読み取り、それをまとめる力を授業中の発問などで測る。	・授業での発問とその解答を評価する。 ・ノートやプリントにまとめた歴史的事象に対する対照的、また相関的な事象の考察の記述を評価する。	・アクティブラーニングでの活動を評価する。 ・課題のまとめ、提出、発表などの内容と取り組みを評価する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
			知	思	態	
【単元名】歴史の扉～歴史の特質と資料～	(1)歴史総合のガイダンス。及び資料の活用についての学習。(2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】歴史総合のガイダンスをしっかりと聞いているか。 【思】資料を活用方法について、理解できているか。 【主】学び取ろうとする姿勢は見られるか。	○	○	○	1
【単元名】第1部近代化と私たち 第1章結びつく世界と日本	(1)18C東アジアに欧米の進出、産業革命、中国の開港と日本の開国、市民革命、国民国家とナショナリズムまでの近代の歴史を扱う。(2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】背景や歴史的な変化の過程、その結果や影響を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティブラーニングや課題にも積極的に取り組んだか。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
【単元名】第1部近代化と私たち 第2章国民国家と明治維新	(1)、国民国家とナショナリズムの続き、明治維新と日本の産業革命、帝国主義、変容していく東アジア、日露戦争までの近現代史を取り扱う。(2)ノート、資料集、用語解説、プリント、パワーポイントのスライドなど	【知】国民国家の成立や日本の近代化、そして帝国主義の成立やその影響、日露戦争とその影響を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティブラーニングや課題にも積極的に取り組んだか。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
2 学 期	〔単元名〕第Ⅱ部国際秩序の変化 や大衆化と私たち 第1章総力戦と社会運動	(1)第一次世界大戦、ソ連の成立と アメリカの台頭、ヴェルサイユ体 制とワシントン体制、世界経済の 変容と日本、アジアのナショナリ ズム、大衆の政治参加を取り扱 う。 (2)ノート、資料集、用語解説、プ リント、パワーポイントのスライ ドなど	【知】大戦の背景や国際秩序の変化の過程、 その結果や影響を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多 角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティ ブラーニングや課題にも積極的に取り組んだ か。夏季休業中の課題内容はしっかりと取り 組まれたものか。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	〔単元名〕第Ⅱ部国際秩序の変化 や大衆化と私たち 第1章総力戦と社会運動	(1)消費社会と大衆文化 (2)ノート、資料集、用語解説、プ リント、パワーポイントのスライ ドなど	【知】消費社会と大衆文化の特徴を理解して いるか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多 角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティ ブラーニングや課題にも積極的に取り組んだ か。	○	○	○	1
	〔単元名〕第Ⅱ部国際秩序の変化 や大衆化と私たち 第2章経済危機と第二異世界大戦	(1)世界恐慌、ファシズムと共産主 義、日中戦争、第二次世界大戦、 国際秩序の変化、占領や戦後改 革、冷戦の始まりを扱う。 (2)ノート、資料集、用語解説、プ リント、パワーポイントのスライ ドなど	【知】第2次世界大戦へとつながる過程、 ファシズムや共産主義勢力の動き、大戦と戦 後の影響、国際社会の変化を理解してい るか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多 角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティ ブラーニングや課題にも積極的に取り組んだ か。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	〔単元名〕第Ⅲ部グローバル化と 私たち 第5章冷戦と世界経済	(1)冷戦下の紛争や脱植民地化、東 西両陣営の動向、軍拡と抑制、日 本の高度経済成長とアジアの中 の日本について取り扱う。 (2)ノート、資料集、用語解説、プ リント、パワーポイントのスライ ドなど	【知】冷戦や東西陣営の変化、その影響、戦 後の日本の発展を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多 角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティ ブラーニングや課題にも積極的に取り組んだ か。冬季休業中の課題内容はしっかりと取り 組まれたものか。	○	○	○	8
	〔単元名〕第Ⅲ部グローバル化と 私たち 第6章世界秩序の変容と日本	(1)石油危機、アジア諸地域の経済 発展、市場開放と経済の自由化、 情報技術革命とグローバリゼー ションについて取り扱う。 (2)ノート、資料集、用語解説、プ リント、パワーポイントのスライ ドなど	【知】石油危機の経過と影響、アジアの発 展、社会主義国の変化、情報化とグローバ ル化による変化と影響を理解しているか。 【思】資料を活用して、歴史的な諸事象を多 角的に考え、捉えられているか。 【主】主体的に学習活動に参加し、アクティ ブラーニングや課題にも積極的に取り組んだ か。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： (数研出版 数学 I)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理等を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度を身に付ける。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。	適切な手法を選択し問題を解決したり、問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を高める。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
			知	思	態	
〔単元名〕数と式 式の計算 多項式の加法、減法、乗法の計算、 因数分解を行えるようにする。	(1)多項式の加法、減法、乗法 因数分解 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】多項式の計算についての基本的な概念 や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に 式を変形し、問題を解くことができる。 【主】式の計算に興味関心を持ち、積極的に 問題を解決しようとしている。	○	○	○	5
〔単元名〕数と式 実数 根号を含む式の計算を行えるように する。	(1)根号を含む式の計算、分母の有 理化、対称式、2重根号 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】平方根、根号を含む式の計算につい ての基本的な概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、問題を解くことが できる。 【主】実数に興味関心を持ち、積極的に問題 を解決しようとしている。	○	○	○	5
〔単元名〕数と式 1次不等式 1次不等式、連立不等式の解を求め ることができるようにする。	(1)1次不等式、連立不等式、絶対 値を含む不等式 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】不等式についての基本的な概念や原理 を理解している。 【思】論理的に考察し、不等式を活用して具 体的な事象に関する問題を解くことができ る。 【主】不等式に興味関心を持ち、積極的に問 題を解決しようとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○	○	1
1 学 期 〔単元名〕集合と命題 命題と条件 命題の真偽を判定できるようにす る。	(1)命題、反例、必要条件と十分条 件 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】命題についての基本的な概念や原理を 理解している。 【思】論理的に考察し、問題を解くことが できる。 【主】命題と条件に興味関心を持ち、積極的 に問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
〔単元名〕集合と命題 命題と証明 命題と逆、裏、対偶の関係について 理解し、背理法を用いた証明をでき るようにする。	(1)逆、裏、対偶 背理法 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】背理法についての基本的な概念や原理 を理解している。 【思】論理的に考察し、背理法や対偶を用い た証明を行うことができる。 【主】背理法に興味関心を持ち、積極的に問 題を解決しようとしている。	○	○	○	7
〔単元名〕2次関数 2次関数とグラ フ 2次関数のグラフをかきことができ るようにする。2次関数の最大・最 小を求めることができるようにす る。	(1)2次関数のグラフ、最大・最 小、2次関数の決定 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】2次関数についての基本的な概念や原 理を理解している。 【思】グラフをかいて考察し、様々な問題を 解くことができる。 【主】2次関数に興味関心を持ち、積極的に 問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
2 学 期	〔単元名〕 2次関数 2次方程式と2次不等式 2次方程式、2次不等式を解くことができるようにする。	(1) 2次方程式、判別式、2次不等式、連立不等式 (2) 教科書、副教材、ICT端末	【知】 2次方程式、2次不等式についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】 論理的に考察し、2次関数のグラフとx軸の関係を用いて問題を解くことができる。 【主】 2次方程式、2次不等式に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	15
	〔単元名〕 図形と計量 三角比 三角比、三角比の相互関係、拡張した三角比についての問題を解くことができるようにする。	(1) 三角比の定義、三角比の相互関係、拡張した三角比の定義 (2) 教科書、副教材、ICT端末	【知】 三角比についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】 論理的に考察し、三角比の定義を利用して問題を解くことができる。 【主】 三角比に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	〔単元名〕 図形と計量 三角形への応用 正弦定理や余弦定理を用いて図形の計量を行うことができるようにする。	(1) 正弦定理、余弦定理、三角形の面積、空間図形への応用 (2) 教科書、副教材、ICT端末	【知】 正弦定理や余弦定理について、基本的な概念や原理を理解している。 【思】 正弦定理や余弦定理を用いて、問題を解くことができる。 【主】 正弦定理や余弦定理に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	〔単元名〕 データの分析 代表値、四分位数、分散と標準偏差、相関係数を求めることができるようにする。	(1) 代表値、データの散らばり、分散と標準偏差、相関係数、仮設検定の考え方 (2) 教科書、副教材、ICT端末	【知】 データの分析についての基本的な概念や原理を理解している。 【思】 目的に応じてデータを分析し、データの特徴を把握することができる。 【主】 データの分析に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	13
	〔単元名〕 式と計算 3次式の展開、因数分解、整式の割り算ができるようにする。	(1) 3次式の展開、因数分解、整式の割り算 (2) 教科書、副教材、ICT端末	【知】 整式の割り算についての基本的な性質を理解している。 【思】 論理的に考察し、問題を解くことができる。 【主】 整式の割り算に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学

科目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ 数研出版 数学A

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】基本的な概念や原理等を体系的に理解し、事象を数学的に表現・処理する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度を身に付ける。

科目 数学A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。	適切な手法を選択し問題を解決したり、問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力を高める。	粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、数学の良さを認識し、積極的に数学を活用しようとする態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
			知	思	態	
〔単元名〕 準備 集合 第1章 場合の数と確率 1 集合の要素の個数 様々な集合の要素の個数を求められるようにする	(1)集合の基本項目。ドモルガンの法則。和集合、補集合の要素の個数。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】集合についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に集合の要素の個数を求められる。 【主】集合の要素の個数に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	2
〔単元名〕 2 場合の数 3 順列 問題文をきちんと読みとる能力をつけ、順列の公式に結びつけていく能力を養う。	(1)樹形図。和の法則。積の法則。順列。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】場合の数、順列についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に場合の数、順列を求められる。 【主】場合の数、順列に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
〔単元名〕 4 円順列。重複順列 5 組合せ 問題文をきちんと読みとる能力をつけ、組み合わせの公式に結びつけていく能力を養う。	(1)円順列。重複順列。組合せ。同じものを含む組合せ。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】円順列、重複順列、組合せについての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に順列、組合せを求められる。 【主】円順列、重複順列、組合せに興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1
1 学 期 〔単元名〕 6 事象と確率 7 確率の基本性質 あらゆる問題のパターンをしっかりと読みとり、確率の計算に結びつける考え方を理解させる。	(1)試行、事象。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】事象、確率の基本性質についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に事象、確率の基本性質を求められる。 【主】事象、確率の基本性質に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
〔単元名〕 8 独立な試行の確率 9 反復試行の確率 反復試行の確率については出題頻度も高いので十分時間をかけ理解させる。	(1)和事象、積事象。独立試行。反復試行。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】独立・反復試行の確率についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に独立・反復試行の確率を求められる。 【主】独立・反復試行の確率に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
〔単元名〕 10 条件付き確率 11 期待値 条件付き確率を利用して原因の確率を求められるようにする。	(1)条件付き確率。原因の確率。期待値。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】条件付き確率、期待値についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に条件付き確率、期待値を求められる。 【主】条件付き確率、期待値に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
2 学 期	〔単元名〕 第2章 図形の性質 1 三角形の辺の比 2 三角形の外心、内心、重心 および内接円、外接円について図形との関連を理解する。	(1)辺の比。外心、内心、重心。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】外心、内心、重心についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に外心、内心、重心を求められる。 【主】外心、内心、重心に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕 3 チェバの定理・メネラウスの定理 4 円に内接する四角形 チェバの定理、メネラウスの定理を取り上げて理解させる。	(1)チェバの定理。メネラウスの定理。円周角の定理。円に内接する四角形。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】チェバ・メネラウスの定理についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切にチェバ・メネラウスの定理を使える。 【主】チェバ・メネラウスの定理に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
	〔単元名〕 5 円と直線 6 方べきの定理 接線と弦の作る角、弦や接線の長さに関する方べきの定理を理解する。	(1)接線と弦の作る角。方べきの定理。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】円と直線、方べきの定理についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に方べきの定理を使える。 【主】方べきの定理に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
	〔単元名〕 7 2つの円の位置関係 8 作図 2つの円の関係には5通りの場合があることを取り上げ、2つの円の半径、中心間の距離との関係を考察する。	(1)共通内接線、共通外接線。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】2つの円の位置関係についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に2つの円の位置関係を求められる。 【主】2つの円の位置関係に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	2
	〔単元名〕 9 直線と多面体 10 多面体	(1)オイラーの多面体定理。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】多面体についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に多面体の面の数などを求められる。 【主】多面体に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	3
	〔単元名〕 第3章 数学と人間の活動 1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 整数の範囲で約数と倍数、素因数分解の理解する。最大公約数、最小公倍数および互いに素という概念を理解する。	(1)約数。倍数。素数。素因数分解。互いに素 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】約数、倍数、素因数についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に約数、倍数、素因数分解を求められる。 【主】約数、倍数、素因数に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	3
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	〔単元名〕 3 最大公約数、最小公倍数 4 整数の割り算 整数の範囲での割り算の商と余りを扱えるようにして、余りの計算の仕組みを理解させる。	(1)最大公約数。最小公倍数。整数の割り算。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】最大公約数、最小公倍数についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に最大公約数、最小公倍数を求められる。 【主】最大公約数、最小公倍数に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 5 ユークリッドの互除法 6 1次不定方程式 ユークリッドの互除法の応用として1次不定方程式の解が求められるようにする。	(1)ユークリッドの互除法。1次不定方程式。 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】ユークリッドの互除法、1次不定方程式についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に1次不定方程式を求められる。 【主】ユークリッドの互除法、1次不定方程式に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 7 記数法 8 座標の考え方 2進法なども日常にあることを理解する。座標による表記を使いこなせるようにする。	(1)記数法。N進法。平面、空間の座標 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】記数法、座標についての基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切に記数法、座標を使える。 【主】記数法、座標に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	〔単元名〕 9 ゲーム・パズルの中の数学 数学により数的処理をしてゲームをする。	(1)魔方陣 (2)教科書、副教材、ICT端末	【知】ゲーム・パズルにおける数的処理の基本的概念や原理を理解している。 【思】論理的に考察し、目的に応じて適切にゲーム・パズルにおける数的処理を使える。 【主】ゲーム・パズルにおける数的処理に興味関心を持ち、積極的に問題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1

豊多摩高等学校 令和5年度（1・2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（高等学校生物基礎（啓林館））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然科学への知識を深め、中学理科の学びを基に更に発展的に興味・関心を高めていく。

【思考力、判断力、表現力等】学んだことの要点を明確にとらえ、考察し、表現することができる能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】実習やレポート、グループ学習を通じて主体的な学びを深める。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生命現象を「生物の特徴」「遺伝子とその働き」「ヒトの体の調節」「生物の多様性と生態系」の4つの側面から学び、興味関心を深める。顕微鏡操作に慣れ、使いこなせるように習得する。	生命現象について疑問や課題を発見し、仮説を設定して考え深めていくことができる。仮説の検証法を具体的に計画することができる。	顕微鏡実習、探究レポート、週末課題などの積極的に取り組み、自ら探究活動の課題を探り深められる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
			知	思	態	
第1章 生物の特徴 第1節 生物の共通性と多様性 A 生物がもつ特徴 ・現存する多様な生物には共通性があり、その共通性は共通の起源をもつことに由来することがわかる。	(1)生物の共通性と多様性 系統樹の理解 原生物 (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】生物群の系統樹上での類縁関係がわかる。多様な生物の共通点がわかる。 【思】生物としての共通の特徴をあげることができ、多様な生物群が単一の共通先祖に由来すると考えることができる。 【主】多様な生物に関心をもち、形態や生活の多様さを知ろうとする意欲を持っている。	○	○	○	3
B 細胞と生物 ・単細胞生物と多細胞生物の機能における共通性と多細胞生物の体の成り立ちがわかる。	(1)単細胞生物と多細胞生物 多細胞生物の組織と器官 顕微鏡の操作方法の習得と観察(細胞) (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】単細胞生物の構造とその働き、多細胞生物の器官の働き、細胞と組織の多様性がわかる。 【思】単細胞生物の構造と働き、多細胞生物の構造と働きの例をあげることができる。 【主】単細胞生物の構造の多様性と、多細胞生物の細胞と組織の多様性に関心を持つ。	○	○	○	3
C 細胞の構造 ・細胞が基本単位であることがわかる。	(1)細胞発見の歴史 細胞の構造と働き 核の働き (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点がわかる。 【思】細胞小器官の名称と働きを理解し、原核生物と真核生物の共通点と相違点を考えることができる。 【主】細胞小器官の特徴と働きに注目する。	○	○	○	3
1 学期 第1章 生物の特徴 第2節 生物とエネルギー A 代謝とエネルギー ・生命活動に必要なエネルギーとATPについてわかる。	(1)ATPの構造と働き (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】ATPが果たす役割について理解することができる。 【思】代謝におけるエネルギーについて考えることができる。 【主】生命活動に必要なエネルギーと代謝について調べようとする。	○	○	○	2
定期考査						1
B 代謝と酵素 ・ATPと代謝についてわかる。	(1)カタラーゼの働き 酵素の特性 酵素の種類と働き 身近な酵素反応の例 酵素の実験 (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】酵素反応の特徴を理解できる。 【思】酵素の働きについて考えることができる。 【主】ATPとエネルギーの移動、酵素の役割について関心を持つ。	○	○	○	3
C 光合成と呼吸 ・光合成により光エネルギーを用いて有機物がつくられ、呼吸により有機物からエネルギーが取り出されることがわかる。	(1)光合成のしくみ 呼吸のしくみ (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】光合成の場である葉緑体と呼吸の場であるミトコンドリアを理解する。 【思】細胞内での光合成の場と呼吸の場を葉緑体やミトコンドリアと関連させることができる。 【主】光合成と呼吸の反応とエネルギーの転換を関連させて考えることができる。	○	○	○	3
第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝情報とDNA A DNAの構造 ・DNAが塩基の相補性に依存して二重らせん構造をもち、塩基の配列が遺伝情報となることがわかる。	(1)DNAの構造説明 DNAの構造 DNAの抽出実験 (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】DNAの二重らせん構造と塩基の相補性の重要性が理解できる。【探究2-1】肺炎球菌の実験およびバクテリオファージの実験からDNAが遺伝子であることが認められたことを理解する 【思】DNAの二重らせん構造における塩基配列が遺伝情報となると考えることができる。 【主】遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること、DNAの特徴について関心をもち考えようとする。	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1) 指導事項 (2) 教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	B DNA の複製 ・体細胞分裂の分裂前に母細胞のDNAと同じ塩基配列のDNAが作られることがわかる。	(1) 染色体の特徴 体細胞分裂のしくみ 体細胞分裂の観察 (2) 教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】 遺伝情報の複製は塩基配列の相補的な複製であることが理解できる。 【思】 母細胞のDNAの複製は塩基配列の相補的な複製であることが表現できる。 【主】 DNAが複製されることにより、遺伝情報が伝えられることを調べようとする。	○	○	○	2
	C 遺伝情報の分配 ・細胞周期の間期 (G1, S, G2期) と分裂期におけるDNA量の変化がわかる。	(1) 細胞周期に関する演習 (2) 教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】 DNAの抽出について理解する。細胞周期と体細胞分裂の各期の特徴が分かり、遺伝情報の分配の時期がわかる。 【思】 細胞周期と染色体の変化の関係を考えることができる。 【主】 体細胞分裂と細胞周期が染色体の変化によって観察できることに興味を持つ。	○	○	○	3
	定期考査						1
2 学期	第2章 遺伝子とその働き 第2節 遺伝情報とタンパク質の合成 A 遺伝子の発現とタンパク質 ・DNAの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になることがわかる。	(1) DNAの塩基配列の意味 タンパク質とアミノ酸 (2) 教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】 基配列と遺伝情報の関係と、アミノ酸配列がタンパク質の種類を決める事を理解する。 【思】 DNAの塩基配列の情報がタンパク質のアミノ酸配列の情報になると対応することができる。 【主】 タンパク質について感心をもつ。	○	○	○	2
	B タンパク質の合成 ・転写と翻訳における塩基配列からアミノ酸配列への情報の流れがわかる。タンパク質が酵素として働くことで、生命現象を支えていることがわかる。	(1) DNAとRNA 転写と翻訳のしくみ (2) 教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】 転写と翻訳の過程を理解し、遺伝情報が転写されたmRNAの役割を理解することができる。タンパク質が生命現象と関連して多様な働きをしていると考えることができる。 【思】 遺伝情報である塩基配列が、アミノ酸配列に翻訳されると考えることができる。 【主】 RNAとタンパク質の構造、および転写と翻訳のしくみに興味を持つ。	○	○	○	3
	C 遺伝情報と遺伝子発現 ・すべての遺伝子が常に発現しているわけではなく、個体の部位に応じて発現している遺伝子が異なることがわかる。	(1) 移動情報の発現 イントロンとエクソン (2) 教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】 遺伝情報はほとんどの細胞で維持されているが、遺伝子の発現は調節されていることがわかる。 【思】 個体を構成する細胞は遺伝的に同一で、部位によって発現する遺伝子が異なることを考えることができる。 【主】 遺伝情報をゲノムととらえることに興味を持つ。ゲノム医療など最新の医学的話題にも興味を持つ。	○	○	○	3
	第3章 神経系と内分泌系による調節 第1節 情報の伝達 A 体液と恒常性 ・生物の体内環境が一定に保たれていること、体内環境とは体液の環境であることがわかる。	(1) 体液の種類 体内環境の維持 循環器系 酸素解離曲線 血液凝固のしくみ (2) 教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】 体内環境とは体液の環境であり、体内環境が一定に保たれていること、つまり恒常性が重要である。体液(血液・リンパ液・組織液)の成分や働き、循環系を理解する。 【思】 生物の体内環境が一定に保たれていると考えることができ、循環系と体液の働き(酸素解離や血液凝固など)を考えることができる。 【主】 体内環境の恒常性に興味を持ち、体液の成分、体液の働き、循環に興味を持つ。	○	○	○	3
	B 自律神経系と恒常性 ・自律神経系によって心拍数が適切に保たれていることがわかる。	(1) 自律神経の種類と働き 心拍数の調節 (2) 教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】 心拍は自律神経やアドレナリンというホルモンによっても調節を受けていることを理解する。 【思】 動物の恒常性が自律神経により調節されていると考えることができる。 【主】 体内環境の恒常性に自律神経がかかわっていることを調べようとする。	○	○	○	2
	定期考査						1
	C 内分泌系 D ホルモン分泌の調節 ・体内環境がホルモンにより調節されていることがわかる。	(1) 内分泌腺とホルモンの種類 フィードバック調節 (2) 教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】 特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌され、血液で運ばれてきた細胞に働く。ホルモン量はフィードバック調節されている。 【思】 ホルモンにより器官の活動が調節されており、その量はフィードバック調節されている。 【主】 多様なホルモンが特定の内分泌腺から分泌されていることに興味を持つ。	○	○	○	1
	第3章 神経系と内分泌系による調節 第2節 体内環境の維持のしくみ A 血糖濃度の調節 B ヒトの体温調節 C 水分量の調節	(1) 自律神経系と内分泌系による体内環境の維持 フィードバック調節 血糖値の調節 体温の調節 (2) 教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】 血糖濃度とインスリン濃度のグラフからインスリンの効果を読み取る。体温調節における肝臓などが重要な働きをしていることがわかる。腎臓での濃縮率を求めることができる。 【思】 体液の恒常性における自律神経や内分泌腺、肝臓や腎臓の働きを考えることができる。 【主】 協働により調節されるしくみに興味を持ち、それぞれの役割を知ろうとする。	○	○	○	2

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
2 学 期	第4章 免疫 第1節 免疫の働き A 生体防御 ・病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を守るしくみがわかる。	(1)生体防御のしくみ (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲得免疫があることを理解する。 【思】マクロファージの食作用を観察して免疫について考えることができる。 【主】免疫とそれにかかわる細胞の働きについて調べようとする。	○	○	○	1
	B 自然免疫 ・非特異的な自然免疫の反応がわかる。	(1)自然免疫のしくみ 食細胞とNK細胞 (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】微生物が共通してもつパターンを認識しての防御反応であることを理解する。 【思】自然免疫を獲得免疫と対比させて考えることができる。 【主】細菌などを食作用で除く生体防御反応であることを知ろうとする。	○	○	○	1
	C 獲得免疫 ・体液性免疫と細胞性免疫のそれぞれのしくみがわかる。	(1)体液性免疫のしくみ 細胞性免疫のしくみ (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】免疫寛容に関係するリンパ球の選択を理解する。生体に異物が侵入してから起こる経過を体液性免疫と細胞性免疫にわけて理解する。 【思】体液性免疫と細胞性免疫を説明できる。 【主】免疫のしくみに関心を持つ。	○	○	○	3
	D 免疫と病気 ・免疫が実際の病気とどのように関わっているのかわかる。	(1)ワクチン アレルギー 免疫寛容と自己免疫疾患 定期考査	【知】予防接種、ワクチンと免疫の関係がわかる。 【思】アレルギーなどの免疫反応を例をあげて説明できる。 【主】予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に関する話題に興味を持つ。	○	○	○	3
							1
3 学 期	第5章 植生と遷移 第1節 植生と遷移 A 環境 ・多様な植生が成立する要因には植物の環境への適応が関わっている。	(1)環境要因 土壌の形成 光・光合成曲線の読み取り (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】植物の形態に環境への適応が現れる例があり、光要因も大きな要因のひとつであることが分かる。 【思】植物の生活形に影響する環境要因には主に水・土壌・温度・光がある。 【主】植物の生活に影響を及ぼす環境要因を考察する意欲を持つ。	○	○	○	3
	B 植生の遷移 ・陸上の植生が移り変わっていくこととその要因がわかる。	(1)遷移のしくみ (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】植生の一次遷移に伴って植物種数や地表照度、土壌の厚さ、土壌有機物%などの変化をグラフ化し、読みとることができる。 【思】荒原が草原、森林へと変化してゆく過程には環境要因が関わっていることを考察する。 【主】植生の変化に注目し、その要因に関心を持つ。	○	○	○	2
	C 遷移とバイオーム ・気温と降水量の違いによって、地球上ではさまざまなバイオームが成立していることがわかる。	(1)各バイオームの特徴 (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】気温と降水量のデータから各地のバイオームを予想できる。 【思】バイオームが成立する際の環境要因について考えることができる。 【主】世界のバイオームの特色に関心を持つ。	○	○	○	3
	D 日本のバイオーム ・日本のバイオームの特徴がわかる	(1)垂直分布と水平分布 (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】水平分布、垂直分布がわかる。 【思】バイオームが成立する際の環境要因と日本の地理的な関係がわかる。 【主】世界のバイオームの特色に関心を持つ。	○	○	○	1
	第6章 生態系とその保全 第1節 生態系と生物の多様性 A 生態系における生物どうしのつながり ・生態系の成り立ちがわかる	(1)生態系の定義 ・生産者と消費者、食物網 A 生態系における生物どうしのつながり ・生態系ピラミッド (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 【思】生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物例をあげて説明できる。 【主】生態系をどのように考えるか、関心を持つ。	○	○	○	2
	B 種多様性と生物間関係 ・キーストーン種と間接効果について理解する	(1)キーストーン種 間接効果 (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】キーストーン種について理解できる。 【思】間接効果について考えることができる。 【主】ヒトを除去すると生態系の構成種や数に変化することに関心をもち、生態系について理解しようとする。	○	○	○	2
	第6章 生態系とその保全 第2節 生態系のバランスと保全 A 生態系のバランスと変動 ・生態系のバランスについて理解する	(1)生態系の変動 かく乱、富栄養化、外来生物、生物濃縮 (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】CODなどからアオコの原因を推測できる。 【思】生態系のバランスについて考えることができる。外来生物の影響について考えることができる。 【主】生態系に与える人間生活の影響について関心をもっている。	○	○	○	2
	第6章 生態系とその保全 第2節 生態系のバランスと保全 B 生態系の保全 ・生物多様性の保全の重要性がわかる。	(1)生物多様性の定義 里山の保全 外来生物と絶滅危惧種 環境アセスメント (2)教科書、図表、プリント、ICT教材 (PowerPoint教材)	【知】生物多様性を保全することの重要性がわかる。 【思】生態系の保全が重要であると考えられることができる。 【主】環境問題などについて関心をもっている。	○	○	○	2
							1
							1

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（現代高等保健体育 大修館）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能および社会性における健康・安全について理解するとともに技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技術を身につけている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるなど表現することができる。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	〔単元名〕 バレーボール（男女）	①パス レシーブ、トスも含む ②スパイク ③サーブ ④ルールの説明 ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム ミニゲーム～通常ルール	【知】 実技テスト など 【思】 実技テスト・振り返りシート など 【主】 振り返りシート・授業態度 など	○	○	○	6
	〔単元名〕 ソフトボール（男）	①キャッチボール ②バッティング ③ピッチング ④ルールの説明 ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム 特別ルール～通常ルール	【知】 実技テスト など 【思】 実技テスト・振り返りシート など 【主】 振り返りシート・授業態度 など	○	○	○	6
	〔単元名〕 ハンドボール（女）	①ハンドボールの説明 ②パス ③ルールの説明 ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム 特別ルール～通常ルール	【知】 実技テスト など 【思】 実技テスト・振り返りシート など 【主】 振り返りシート・授業態度 など	○	○	○	6
	〔単元名〕 水泳（男女）	①オリエンテーション・水なれ 安全確認・注意も含む ②クロール 泳法 ③平泳ぎ 泳法 ④タイム計測	【知】 実技テスト（タイム計測含む） など 【思】 実技テスト・振り返りシート など 【主】 振り返りシート・授業態度 など	○	○	○	6
2 学 期	〔単元名〕 バスケットボール（男女）	①パス ②ドリブル ③シュート ④ルールの説明 ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム 特別ルール～通常ルール	【知】 実技テスト など 【思】 実技テスト・振り返りシート など 【主】 振り返りシート・授業態度 など	○	○	○	6
	〔単元名〕 サッカー（男）	①パス ②ドリブル ③シュート ④ルールの説明 ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム 特別ルール～通常ルール	【知】 実技テスト など 【思】 実技テスト・振り返りシート など 【主】 振り返りシート・授業態度 など	○	○	○	6
	〔単元名〕 アルティメット（女）	①ディスクの説明 ②パス ③ルールの説明 ポジション・安全確認も含む ⑤ゲーム 特別ルール～通常ルール	【知】 実技テスト など 【思】 実技テスト・振り返りシート など 【主】 振り返りシート・授業態度 など	○	○	○	6

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
3 学 期	[単元名] 持久走	①オリエンテーション 安全確認・注意 含む ②持久走 時間走・タイム計測など ③タイム・記録計測	【知】実技テスト など 【思】実技テスト・振り返りシート など 【主】振り返りシート・授業態度 など	○	○	○	6
	[単元名] 体づくり運動 体育理論	①各授業において 各種トレーニングを継続しておこ なう。 ②振り返りシートの作成 など ③まとめ			○	○	—
	定期考査						

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（現代高等 保健体育 一大修館一）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 健康・安全について理解するとともに知識を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 保健についての自他や社会の課題を発見し合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して健康の保持増進を目指し明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
1 学期	[単元名] 現代社会と健康 1、健康の考え方と成り立ち 2、私たちの健康のすがた 3、生活習慣病の予防と回復 4、がんの原因と予防 5、がんの治療と回復 6、運動と健康 7、食事と健康 8、休養・睡眠と健康	(1) 1,さまざまな健康の考え方や健康を成り立たせている要因について例を挙げて説明する。 2,我が国の健康問題について説明する。 3,生活習慣病について種類や要因について説明する。 4,5,がんの種類や要因・対策などについて説明する。 6～8,運動・食事・休養・睡眠と健康の関係について、例をあげて説明する。 (2) ICT/パソコン パワーポイント プロジェクター・タッチペン スクリーン など	【知】 定期考査・小テスト 【思】 学習プリント・ノート提出 【主】 ノート・授業態度	○	○	○	10
	定期考査			○			1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
2 学期	〔単元名〕 現代社会と健康 9、喫煙と健康 10、飲酒と健康 11、薬物乱用と健康 12、精神疾患の特徴 13、精神疾患の予防 14、精神疾患からの回復 15、現代の感染症 16、感染症の予防 17、性感染症・エイズとその予防 18、健康に関する意思決定・行動 選択 19、健康に関する環境委づくり 安全な社会生活 1、事故の現状と発生要因 2、安全な社会の形成 3、交通における安全	(1) 9、喫煙者やその周囲に起こる害や 喫煙対策について説明する。 10、飲酒による短期長期の影響や 様々な対策について説明する。 11、薬物乱用が心身の健康や社会 に及ぼす影響や対策について説明 する。 12～14、様々な精神疾患について の説明・予防法・回復について説 明する。 15～17、各種の感染症についての 説明・予防法を説明する。 18～19、社会環境の健康への影響 やヘルスプロポジションの考え方 に基づく環境づくりの特徴につ いて説明できる。 安全な社会生活 1～3、事故・自然災害・犯罪など の実態を説明しその環境整備や責 任などについて説明する。 (2) ICTパソコン パワーポイント プロジェクター・タッチペン スクリーン など	【知】 定期考査・小テスト 【思】 学習プリント・ノート提出 【主】 ノート・授業態度	○	○	○	13
	定期考査			○			1
3 学期	〔単元名〕 安全な社会生活 4、応急手当の意義とその基本 5、日常的な応急手当 6、心肺蘇生法	(1) 4、応急手当の意義について説明し 傷病者への確認・観察するポイン トをあげることができる。 5、日常的なケガや熱中症の応急手 当の手順や方法について説明し実 際にできるようにする。 6、心肺蘇生法の方法と手順を説明 し実際に行えるようにする。 (2) ICTパソコン パワーポイント プロジェクター・タッチペン スクリーン など	【知】 定期考査・小テスト 【思】 学習プリント・ノート提出 【主】 ノート・授業態度	○	○	○	5
	定期考査			○			1

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術Ⅰ 科目 音楽

教科：芸術Ⅰ 科目：音楽 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（音楽之友社 ON11 ）

教科 芸術Ⅰ の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当 時数		
		歌	器	創			知	思	態			
【単元名】 ハーモニーを感じて歌おう	(1) ・呼吸や口の形など発声の基本について。 ・楽譜を見て歌う力（視唱・読譜）。 (2)校歌					【知】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉（歌詞）の発音などの技能を身につけている。 【思】旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【主】曲にふさわしい発声に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8		
イタリア歌曲を歌おう	(1) ・イタリア語の発音の特徴について。 ・楽曲にあるリズム、旋律やハーモニーの関わり。 ・歌詞の内容、曲想を理解し、楽曲に合わせた表現について。 (2)Caro mio ben					【知】・言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特性をとらえた発音などの技能を身につけている。 【思】旋律や言葉（歌詞）と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【態】イタリア古典歌曲に関心をもち、楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○		○	○	7	
【単元名】 音楽の基礎知識を身に付けよう	(1) 読譜力や音楽の基礎的な力を身に付け、表現活動に生かしていくための知識。 (2)ワークシート、教科書					【知・技】楽譜を読むために必要な力や基礎的な知識を習得し、理解している。 【思】音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、音楽表現との関りについて考えている。 【態】音楽のテクスチャに関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	○		○	○	7	
【単元名】 物語と音楽との関わりに注目しよう	(1) 舞台作品としてのミュージカル（映画）の物語の内容、それぞれのナンバーを歌う登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解して、音楽の持つ美しさや表現の深さについて。 (2)レ・ミゼラブル					【知・技】作品の楽曲（ナンバー）の特徴や作品の時代背景（文化）、舞台作品としての表現方法を理解している。 【思】音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって鑑賞している。 【態】物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の活動に取り組もうとしている。			○	○	○	3

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当 時数
		歌	器	創			知	思	態	
〔単元名〕 クラシックギターを演奏しよう	(1) ・楽器の構え方、基本的な奏法、音階練習。 ・簡単な単旋律教材と発展的な楽曲に挑戦し、ギターを弾くことや表現することの楽しさについて。 (2)禁じられた遊び(愛のロマンス)		○		○	【知】 ・曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。 ・楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につけている。 【思】音色の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【態】ギターの独奏やアンサンブルの演奏をするに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
〔単元名〕 西洋音楽史を通して、幅広く音楽に触れよう	(1) ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて。 (2)ワークシート、PP				○	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【思】音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主】西洋音楽の鑑賞と文化的・歴史的背景の学習で迎えることに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5
〔単元名〕 ヴォイス・アンサンブル	(1) ・楽譜から読み取れるリズムや、拍子、アーティキュレーションについて。 ・それぞれの役割(パートごとのリズム、言葉など)について。 ・楽曲の曲想や音楽表現の工夫について。 (2)野菜の気持ち				○	【知】音素材、音の連なりや重なりによる響き及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【思】音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 【主】音色や構成を工夫しながらイメージをもって音楽をつくって演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5
〔単元名〕 日本歌曲を歌おう	(1) ・日本語(歌詞)の発音(鼻濁音、子音など)について。 ・歌詞の内容や曲想、楽曲に合わせた表現について。 (2)この道、浜辺の歌、椰子の実、夢見たものは…等から一曲		○			【知】 ・曲想と歌詞や楽曲の背景との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発音、言葉(歌詞)の発音などの技能を身につけている。 【思】旋律と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【態】楽曲の美しさに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4

2
学
期

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当 時数
			歌	器	創			知	思	態	
3 学 期	〔単元名〕 年度末アンサンブル発表会	(1) ・それぞれの楽器や歌の基本的な奏法（息づかいや指使いなど）、演奏表現に必要な技術。 ・楽曲の曲想や楽器の音色を作り出す奏法の関係について。 ・楽曲のイメージと、演奏表現の生かし方について。	○	○		○	【知】音楽Ⅰの1年間の学習における技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽、創作で表している。 【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱や器楽、創作表現としてどのように表すかについて表現意図をもっている。 【主】1年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽Ⅰの1年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに興味をもち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	〔単元名〕 混声合唱を美しく響かせよう	(1) ・他者との調和を意識した演奏する技能。 ・各パートや指揮者の役割を理解するとともに、全体の響きやハーモニーをイメージすること。 ・共通のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働き方などを試行錯誤しながら表現を工夫することについて。 (2)ぜんぶ／相澤直人 作曲					【知】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和やハーモニーを意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思】音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主】混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに興味をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用） 教科芸術

科目 美術

教科：芸術

科目美術

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組 H 組

使用教科書：（ 高校生の美術1 116-日文 美1-702 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】知識は造形的な視点を豊かにするためのものであり、技能は表現における創意工夫であり、それを育てる。

【思考力、判断力、表現力等】表現における発想・構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った感じ方、見方を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】美術に対する関心・意欲・態度を持って美術を愛好する心情、又豊かな感性、情操を育てる。

科目 美術

の目標： 美術の専門的な学習を通して美術文化の創造的な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識は造形的な視点を豊かにするためのものであり、技能は表現における創意工夫であり、それを育てる。	表現における発想・構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った感じ方、見方を育てる。	美術に対する関心・意欲・態度を持って美術を愛好する心情、又豊かな感性、情操を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	〔単元名〕 オリエンテーション 「美術とは何か」 「年間授業の計画」等の説明	(1)1年間の授業内容の説明、教科書の説明、社会の中での美術の役割。 (2)教科書、参考作品等。	【知】 【思】 【主】 主体的に意欲を持って授業に参加しているか。			○	1
	〔単元名〕 「クロッキー」	(1)クロッキーとは何かの説明。教科書等を参考にし、描画材料の説明。 (2)鉛筆B、2B、紙	【知】 対象物を良く観察しているか。 【思】 表現力を持って描いているか。 【主】 関心、積極的に意欲を持っているか。	○	○	○	1
	〔単元名〕 「石膏デッサン」	(1)美術の基礎の学習。陰影、明暗、形の捉え方、比例等を学ぶ。 (2)鉛筆B、2B、画用紙、練ゴム、カッターナイフ。	【知】 基本的な物の見方、観察して表現しているか。 【思】 思考力を持って作品作りをしているか。 【主】 主体的に積極性を持って授業に取り組んでいるか。	○	○	○	10
	定期考査						
	〔単元名〕 「グラデーション」	(1)鉛筆の濃淡、諧調の学習。鉛筆の塗り方、形の捉え方等。講習会を行う。 (2)鉛筆B、又は2B使用、定規	【知】 丁寧に作品作りをしているか。 【思】 【主】 真剣に授業に取り組んでいるか。	○		○	4
	〔単元名〕 「平面構成」 (デザイン)	(1)デザインの基礎である平面構成、色彩構成を学習する。 (2)ポスターカラー、ケント紙、筆、鉛筆、定規	【知】 ポスターカラーのとき方、筆の持ち方などの基礎技法の学習。 【思】 色と形の対比、自然物と人工物の構成、抽象形に構成力の評価。 【主】 真剣に意欲を持って作品作りをしているか。	○	○	○	10
定期考査							

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数	
			知	思	態		
2 学 期	〔単元名〕 「平面構成」 (デザイン)	(1) デザインの基礎である平面構成、色彩構成を学習する。 (2) ポスターカラー、ケント紙、筆、鉛筆、定規	【知】 ポスターカラーのとき方、筆の持ち方などの基礎技法の学習。 【思】 色と形の対比、自然物と人工物の構成、抽象形に構成力の評価。 【主】 真剣に意欲を持って作品作りをしているか。	○	○	○	10
	〔単元名〕 「静物画」 (絵画)	(1) 身近なモチーフをアクリル絵の具で描かせる。形、色彩、構成力、質感、構想を練ったり、鑑賞力を身に付ける。 (2) アクリル絵の具、筆、キャンバスボードF6号等。	【知】 丁寧にモチーフを観察して描いているか、表現方法に工夫があるか。 【思】 発想力、構成力、色彩に工夫がみられるか。 【主】 真剣に授業に取り組んでいるか。	○	○	○	10
	定期考査						
	〔単元名〕 「心象風景」 (絵画) モダンテクニックを使って心の表現を描く	(1) モダンテクニック (スパッタリング、バジック等) を用いて、心の中を表現する。 (2) ポスターカラー、網、ストロー、クレパス等。	【知】 心の中の表現を理解し、どの技法が適しているかを考える。 【思】 創意工夫されているか、発想構成力は美しく表現されているかで評価する。 【主】 真剣に授業に取り組んでいるか。	○	○	○	8
定期考査							
3 学 期	(絵画) モダンテクニックを使って心の表現を描く	(1) モダンテクニック (スパッタリング、バジック等) を用いて、心の中を表現する。 (2) ポスターカラー、網、ストロー、クレパス等。	【知】 心の中の表現を理解し、どの技法が適しているかを考える。 【思】 創意工夫されているか、発想構成力は美しく表現されているかで評価する。 【主】 真剣に授業に取り組んでいるか。	○	○	○	4
	〔単元名〕 「身近なものを描く」 (絵画) 点描画の技法	(1) 図鑑、身近なものを良く観察して点描で描く。 (2) ドローイングペン、鉛筆、イラストボードB5判	【知】 モチーフを良く観察して、立体的に描かれているか。 【思】 発想力、点描の美しさが表現されているか。 【主】 美術に関心、意欲を持って授業に取り組んでいるか。	○	○	○	12
	定期考査						

年間授業計画

豊多摩高等学校 令和5年度（1・2学年用）教科

科目 書道

教科：芸術

科目：書道Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～G組

使用教科書：（教育図書 書Ⅰ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当 時数
		漢 仮	漢	仮			知	思	態	
〔単元名〕 ・書へのいざない ・書写から書道へ ・書体の変遷を知る ・臨書とは何か ・用具、用材の特徴と表現効果	(1)書とはどのような芸術かを考える。 漢字の書体と変遷を知る。 各書体について、字形や特徴を理解する (2)用具・用材 碑と拓本 臨書から創作へ		○		○	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わりを理解している。 書体・書風を理解している 【思】書の良さ・美しさを味わって捉えている 【主】書の良さや美しさを感じ、主体的に取り組んでいる	○	○	○	4
〔単元名〕 ・古典に基づく学習 ・さまざまな楷書古典を知る ・楷書の特徴を理解し、書風の相違を感得する	(1)隋と唐の文化について知る ・楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を理解する。 (2)孔子廟堂碑・九成宮醴泉銘・雁塔聖教序・顔氏家廟碑など		○		○	【知】楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 【思】楷書の古典の価値や良さ、美しさを捉えている。 【主】主体的に幅広い、表現の学習活動に取り組んでいる	○	○	○	6
〔単元名〕 ・古典に基づく学習 ・さまざまな楷書古典を知る ・楷書の特徴を理解し、書風の相違を感得する	(1)楷書の特徴を理解し、楷書古典の書風の相違を理解する (2)牛造像記・鄭義下碑など		○		○	【知】楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりを理解している。 【思】楷書の古典の価値や良さ、美しさを捉えている。 【主】主体的に幅広い、表現の学習活動に取り組んでいる	○	○	○	6
〔単元名〕 ・行書 ・行書の特徴を理解する ・さまざまな行書の古典を知る ・王羲之の書道史上の重要性を理解する ・顔真卿の思いと表現を理解する ・日本の書の芽生えを知る	(1)行書の表現の多様性にふれ、行書の特徴を理解し、行書古典の書風の相違を理解する (2)集王聖教序・争座位文稿・蘭亭序・風信帖など		○		○	【知】行書の古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。 【思】行書の古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを捉えている。 【主】行書の臨書を通してその書美を学んでいる。	○	○	○	4

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	表現			鑑賞	評価規準	該当に○			配当 時数
			漢 仮	漢	仮			知	思	態	
2 学 期	〔単元名〕 ・草書 臨書を通して草書の筆使いを理解する ・隸書 隸書の生まれた過程や背景を知り、特徴を理解する	(1)真草千字本や曹全碑の鑑賞と臨書を通して、その書美を学ぶ。 基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける (2)真草千字文・曹全碑など					【知】草書が成立した過程や特徴を理解している 隸書の直線化、波勢を理解している 【思】草書の特徴の点画の連続や省略を捉えている 【主】漢字の書の幅広い表現に主体的に取り組んでいる	○	○	○	4
	〔単元名〕 ・篆書 小篆の筆使いの特徴を理解する 伝統と文化についても理解する ・篆刻 篆刻について理解し、篆刻の仕方について学習する。	(1)篆書のみや良さを感じ取り、篆書の技法を学び取る。 (2)泰山刻石					【知】篆書が成立した過程や特徴について理解している 印の使い方や種類を理解している 【思】縦長・左右対称・水平・垂直を捉えている 【主】幅広い表現と鑑賞に主体的に取り組んでいる	○	○	○	6
	〔単元名〕 ・篆刻 篆書の特徴を生かして、草稿・印稿・運刀などができる ・篆刻の準備と手順について理解し、姓名印を刻る	(1)篆刻の表し方や美しさを理解する 文字や印材との余白との関係を理解し、全体の構成を考える (2)DVDの活用					【知】篆刻の意義や選文から補刀までの制作手順を理解している 【思】篆刻の歴史を知り、自分の印に工夫を加えている 【主】主体的に姓名印を刻し、作品に押印している	○	○	○	8
	〔単元名〕 ・仮名の書を学ぶ ・仮名の基本用筆を理解する ・仮名の成立と種類を理解する ・連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付ける ・散らし書きを理解する	(1)日本の名筆を日本の伝統的な書の美を感じる。 仮名の基本的な線・運筆を理解し練習する。 用具・用材を理解する。 (2)蓬萊切・高野切古今和歌書（第三種）など					【知】古筆を知り、仮名の成立について理解している 【思】名筆を生かした表現、幅広い表現について工夫している 【主】主体的に仮名の書の幅広い学習活動に取り組んでいる	○	○	○	4
3 学 期	〔単元名〕 ・仮名の書の作品制作 ・臨書から創作へ	(1)作品制作の手順を知り、表現を楽しむ 仮名の書で学んだ古典の特徴や技法を生かして創作する (2)創作作品					【知】仮名の書の線質・字形・構成等の表現効果を理解している 【思】意図の基づいた表現について構想し、工夫している 【主】古典の特徴や技法を生かして取り組んでいる				4
	〔単元名〕 ・漢字仮名交じりの作品制作 ・臨書から創作へ ・自分自身の表現を求める	(1)漢字と仮名の調和を学ぶ 言葉と表現の関係を考える 自らの思いや感動する獄を選び、作品を構想する (2)創作作品	○				【知】用筆・用材の特徴と表現効果との関わりを理解している 【思】漢字と仮名の調和した字形・大きさ・構成などを工夫している 【主】主体的に自分らしい表現作成に取り組んでいる				4
	〔単元名〕 ・生活の中の書 ・葉書や手紙の書式を学ぶ ・暮らしの中に書を積極的に生かす	(1)心をこめて書く、自分らしく書く 書道の学習で身に付けた感性や表現技法が暮らしの中に生かされていることを理解する (2)封筒・葉書・年賀状・カードなど	○	○	○	○	【知】目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている 【思】書を生活の中に生かす表現を工夫している 【主】主体的に生活の中から書を探し、特徴を作品に生かすように取り組んでいる				4

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 英語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：英語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～ H組

使用教科書：（CROWN English Communication I（三省堂））

教科 英語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	領域				評価規準	該当に○			配当 時数
		聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕		書	知	思	
〔単元名〕 Lesson 1 The Blue White Shirt	(1)言語・日本文化／スピーチ・家庭生活・学校生活 to 不定詞・動名詞 (2) デジタル教科書・電子黒板					【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				10
〔単元名〕 Lesson2 Does It Spark Joy?	(1)生き方・生活／エッセイ・家庭生活 現在完了・現在完了進行形・助動詞 (2)デジタル教科書・電子黒板					【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				5
定期考査									1	
〔単元名〕 Lesson2 Does It Spark Joy?	(1)生き方・生活／エッセイ・家庭生活 現在完了・現在完了進行形・助動詞 (2)デジタル教科書・電子黒板					【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				5
〔単元名〕 Lesson 3 Hatching the Egg of Hope	(1)芸術・国際交流／エッセイ・地域での活動 関係代名詞 分詞の形容詞的用法 受動態 (2)デジタル教科書・電子黒板					【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				10
定期考査									1	

1
学
期

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	領域					評価規準	該当に○			配当 時数
		聞	読	話 [や]	話 [発]	書		知	思	態	
〔単元名〕 Lesson 4 Digging into Mystery	(1)歴史・日本文化/ プレゼンテーション・学校生活 過去完了・過去完了進行形 関係代名詞what S+V+O (O=疑問詞節 /if節) (2)デジタル教科書・電子黒板						【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				10
〔単元名〕 Lesson 5 Roots & Shoots	(1)環境・共生/インタビュー 分詞構文 it ~ that ... (形式主語) 同格 (2)デジタル教科書・電子黒板						【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				10
〔単元名〕 Lesson 6 You and Your Smartphone— Who's in Charge?	(1)科学技術/雑誌記事・ 家庭生活・学校生活 関係副詞 S+V+O+C (C=原形不定詞・分詞) (2)デジタル教科書・電子黒板						【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				5
定期考査											1
〔単元名〕 Lesson 6 You and Your Smartphone— Who's in Charge?	(1)科学技術/雑誌記事・ 家庭生活・学校生活 関係副詞 S+V+O+C (C=原形不定詞・分詞) (2)デジタル教科書・電子黒板						【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				5
〔単元名〕 Lesson 7 Living in Alaska	(1)自然・異文化/講演・ 地域での活動 seem to ~ ; it seems that ~ S+is+C (C=that節) S+V+C (C=分詞) (2)デジタル教科書・電子黒板						【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				10
〔単元名〕 Lesson 8 Not So Long Ago	(1)平和・歴史/レクチャー・ 学校生活 仮定法過去 S+V+O1+O2 (O2=疑問詞節) 付帯状況を表すwith ~ (2)デジタル教科書・電子黒板						【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				10
定期考査											1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	領域				評価規準	該当に○			配当 時数			
			聞	読	話 [や]	話 [発]		書	知	思		態		
3 学 期	[単元名] Lesson 9 Our Lost Friend	(1)文化遺産／論説文 受動態の完了形 助動詞+be+過去分詞 関係代名詞の非制限用法 (2)デジタル教科書・電子黒板					【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				○	○	○	10
	[単元名] Lesson 10 Good Ol' Charlie Brown	(1)生き方・芸術／エッセイ 仮定法過去完了 used to ～; would ～など 形式目的語it (2)デジタル教科書・電子黒板					【知】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面に応じ、日常的な話題や社会的な話題について、聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの技能を身に付けている。 【思】コミュニケーションを行う目的や状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、必要な情報や相手の考えを聞き取り、読み取り、要点を捉え、また情報や考えを論理的に注意して話したり、書いたりし伝えている。 【主】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手、読み手、話し手、聞き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。未知の情報に対して積極的に自ら知識として得ようとしている。				○	○	○	10
	定期考査										○	○		1

<p>[単元名] Lesson 4 Have you ever tried it before?</p>	<p>(1)機能:経験を尋ねる／初めての経験を述べる 文法:完了形:現在・過去・未来完了形 (2)デジタル教科書／電子黒板</p>	○	○	○	○	<p>【知】○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>[単元名] Lesson 5 What do you want to do after school?</p>	<p>(1)機能:許可を求める・依頼する／義務・必要を表す／回想する・自省する 文法:助動詞 (2)デジタル教科書／電子黒板</p>	○	○	○	○	<p>【知】○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>1 学期 [単元名] Lesson 6 Did you hear about the new shop?</p>	<p>(1)機能:原因・影響を表す／喜び・驚きを表す 文法:受動態 (2)デジタル教科書／電子黒板</p>	○	○	○	○	<p>【知】○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>										1

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	領域					評価規準	該当に○			配 当 時 数	
		聞	読	話 〔 読 〕	話 〔 発 〕	書		知	思	態		
〔単元名〕 Lesson 7 I'm happy to have you with us.	(1)機能:感謝する/謝罪する/弁解する 文法:不定詞: (2)デジタル教科書/電子黒板						【知】○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。					6
〔単元名〕 Lesson 8 What sport do you like playing?	(1)機能:誘う・申し出る/推薦する 文法:動名詞 (2)デジタル教科書/電子黒板						【知】○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。					6
定期考査											1	
〔単元名〕 Lesson 9 Digital media has come a long way.	(1)機能:描写する/判断の根拠を述べる 文法:分詞 (2)デジタル教科書/電子黒板						【知】○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。					6
〔単元名〕 Lesson 10 That's why I decided to go back.	(1)機能:定義する/言い換える/経緯を説明する 文法:関係詞 (2)デジタル教科書/電子黒板						【知】○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。					6
定期考査											1	

2
学
期

<p>[単元名] Lesson 11 Which do you prefer, cheaper beans or expensive ones?</p>	<p>(1)機能:提案する/称賛する 文法:比較</p> <p>(2)デジタル教科書/電子黒板</p>						<p>【知】○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>				6
<p>3 学 期</p> <p>[単元名] Lesson 12 If I were you, I'd see it as a positive.</p>	<p>(1)機能:助言を求める・助言する/ 願望を表す 文法:仮定法</p> <p>(2)デジタル教科書/電子黒板</p>						<p>【知】○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 【思】○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語での確に理解したり適切に表現したりしている。○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 【主】○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p>				6
<p>定期考査</p>											1

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ H 組

使用教科書： (最新情報 I 実教出版)

- 教科 情報 の目標：
- 【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けるとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
			知	思	態	
【単元名】 オリエンテーション	(1)・情報科を学習する理由を理解する。 ・情報 I の年間予定、成績基準の概要について理解する。 ・コンピュータの起動や終了の方法、OS・ファイルの基本操作について練習する。 ・CALL教室の使い方を理解する。 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・情報科を学習する理由を説明できる。 ・情報 I の年間予定、成績基準の概要について説明できる。 ・コンピュータ・アプリケーションを起動終了でき、パスワード管理等をすることができる。 ・ファイルの作成・複製・保存等の管理をすることができる。 ・日本語入力ができる。 【思】・どのように学習に取り組んでいけばよいか、考えを述べることができる。 【主】・情報 I を学習することに対する意識を高めるようにしている。	○		○	2
【単元名】 第 1 章-1 情報社会	(1) 1 情報社会と情報 2 情報の特性 3 情報のモラルと個人に及ぼす影響 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・データ、情報、知識の意味と相互の関係について説明することができる。 ・情報化が進展する社会の特質について説明することができる。 【思】・情報社会と人間とのかわりについて考え、理解する。 【主】・ネット依存など、情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善方法しようとしている。	○	○	○	2
【単元名】 第 1 章-2 情報社会の法規と権利	(1) 1 知的財産 2 情報の利用と公開 3 個人情報の保護と管理 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・知的財産権について法律を説明することができる。 ・著作権の例外規定や著作物の利用条件に従って、著作物を適切に利用することができる。 【思】・知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明することができる。 【主】・知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響を踏まえて著作物を利用することができる	○	○	○	4
【単元名】 第 1 章-3 情報技術が築く新しい社会	(1) 1 社会の中の情報システム 2 情報技術と課題解決 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・POSシステム、電子マネー、電子決済の仕組みを実例を挙げて説明することができる。 ・人工知能、IoT、仮想現実や拡張現実についてそれぞれ説明することができる。 【思】・IoTや人工知能などの情報技術を社会の問題解決に役立てる方法を提案することができる。 【主】・社会の中の情報システムについて、興味や関心を持っている。	○	○	○	2
【単元名】 第 2 章-1 メディアとコミュニケーション	(1) 1 メディアの発達 2 メディアの特性 3 コミュニケーションの形態 4 インターネット/コミュニケーション (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・メディアの機能発達について説明することができる。 ・インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明することができる。 【思】・伝達する情報に応じて適切に表現メディアや情報 ・メディアを選択して表現することができる。 ・コミュニケーションの形態や特性を考え、コミュニケーションの目的に沿った方法を選択することができる。	○	○		2
【単元名】 第 2 章-2 情報デザイン	(1) 1 社会の中の情報デザイン 2 情報デザインの工夫 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・情報バリアフリー、ユニバーサルデザインの意味と目的について説明することができる。 【思】・Webアクセシビリティやユーザビリティを高めるために、ユーザインタフェースを改善の工夫を考えることができる。	○	○		2

1 学 期	〔単元名〕 第2章-3 情報デザインの実践	(1) 1 文書の作成 2 プレゼンテーション 3 Webページ (2) CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・文書の基本的なレイアウト、文字のフォントやスタイルなどについて理解するとともに、実際に報告書やレポートを作成することができる。 ・情報を公開する目的で、HTMLやCSSを使ってWebページを作成することができる。 【思】・プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる。 【主】・上記の作成にあたり粘り強く工夫や準備を行うことができる	○	○	○	6
	〔単元名〕 第3章-1 情報システムの構成	(1) 1 コンピュータの構成と動作 2 ソフトウェアとインタフェース (2) CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・コンピュータの構成や計算の仕組みについて説明することができる。 【思】・コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて説明することができる。 【主】・コンピュータを構成する装置とその性能について興味・関心を示し、自分で調べようとしている。	○	○	○	1
	〔単元名〕 第3章-2 情報のデジタル化	(1) 1 アナログとデジタル 2 2進数と情報量 3 演算の仕組み 4 数値と文字の表現 5 数値の計算 6 音声の表現 7 静止画と動画の表現 8 情報のデータ量 (2) CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ワークシート	【知】・2進数と情報量の関係について説明することができる。 ・2・10・16進数を相互に変換することができる。 ・数値・文字の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 ・静止画や動画などのデータ量を計算できる。 【思】・アナログとデジタル、圧縮を適切に説明できる。 ・論理回路による演算の仕組みについて説明することができる。 ・画像の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。	○	○	○	4
	定期考査						1

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
			知	思	態	
〔単元名〕 第3章-2 情報のデジタル化	(1) 1 アナログとデジタル 2 2進数と情報量 3 演算の仕組み 4 数値と文字の表現 5 数値の計算 6 音声の表現 7 静止画と動画の表現 8 情報のデータ量 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ワークシート	【知】・2進数と情報量の関係について説明することができる。 ・ $2 \cdot 10 \cdot 16$ 進数を相互に変換することができる。 ・数値・文字の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 ・静止画や動画などのデータ量を計算できる。 【思】・アナログとデジタル、圧縮を適切に説明できる。 ・論理回路による演算の仕組みについて説明することができる。 ・画像の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。	○	○		4
〔単元名〕 第4章-1 情報通信ネットワーク	(1) 1 ネットワークの構成 2 情報通信の取り決め 3 Webページとメールの仕組み 4 転送速度とデータ圧縮 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ワークシート	【知】・通信方式・LANを構成する機器について説明することができる。 ・インターネット通信の階層構造、各プロトコルの働きについて説明することができる。 【思】 ・目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。 ・目的に応じて、適切にインターネットのサービスを選択して利用することができる。 【主】・インターネットの仕組みやサービスの理解を元に問題の解決にでネットワークの活用できる。	○	○	○	4
〔単元名〕 第4章-2 情報セキュリティ	(1) 1 脅威に対する安全対策 2 情報セキュリティの確保 3 安全のための情報技術 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート、ケーススタディ情報モラル	【知】・情報セキュリティの3つの基本的な考え方について説明することができる。 ・メッセージの送受信、デジタル署名、電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについてそれぞれ説明することができる。 【思】・マルウェアや不正アクセスなどの情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断し、対処することができる。 【主】・情報セキュリティポリシーの必要性を感じ適切な状況に応じた対応を考えることが出来る。	○	○	○	4
〔単元名〕 第5章-1 問題解決	(1) 1 問題解決 2 問題の発見 3 問題の明確化 4 解決案の検討 5 解決案の決定 6 解決案の実施と評価 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・問題や問題解決の意味、問題解決の手順について説明することができる。 【思】・問題発見のための現状分析の方法を考え、適切に選択できる。 ・問題解決に適合した評価を計画・実施して、分析しやすいうように評価結果を纏めることができる。 【主】・試行錯誤しながら、粘り強く問題の発見・解決に取り組むことが出来る。	○	○	○	4
〔単元名〕 第5章-2 データの活用	(1) 1 データの収集と整理 2 データ分析と表計算 3 データの可視化 4 データ分析の手法 5 データベースとは (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・表計算ソフトを用いて適切にデータの並べ替えや抽出、関数利用などができる。 ・グラフの種類や機能を理解し、表計算ソフトを用いてデータをグラフ化することができる。 ・データベースの意味と必要性を理解し、事例としてリレーショナルデータベースの機能について説明することができる。 【思】・問題解決の目的や条件に従って、表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができる。 ・問題解決の目的に応じて、データ分析の手法を適切に選択し、分析結果を効果的に表現する力がある。 【主】・問題解決のため、表計算ソフトなどを用いて収集した情報をグラフで可視化したりデータ分析することに工夫が加えられる。	○	○	○	4
〔単元名〕 第5章-3 モデル化	(1) 1 モデル化とシミュレーション 2 モデルの種類 3 モデル化の手順 4 モデル化の手法 5 モデル化をする時の注意 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・モデル化およびシミュレーションの意味について説明することができる。 ・縮尺モデルなど表現形式による分類、動的モデルなど対象の特性による分類など、モデルを分類することができる。 【思】・現実の問題をモデル化するために、図的モデルや数式モデルを作成し、それらに基づいて表やグラフを作成することができる。 【主】・実際に使われているモデルについて検討し、表現形式や対象の特性で適切に分類することができる。	○	○	○	4
〔単元名〕 第5章-4 シミュレーション	(1) 1 シミュレーションの実際 2 モンテカルロ法 3 モデル化とシミュレーションによる問題解決 (2)CALL教室のPC端末・ネットワーク、教科書、学習ノート	【知】・確率的モデル・モンテカルロ法をコンピュータでシミュレーションする意義について説明することができる。 【思】・表計算ソフトの関数を適切に選択・活用して、確率的モデルのシミュレーションをいくつか実行することができる。 【主】・待ち行列を事例に、表計算ソフトで実施したシミュレーションを再計算したり、パラメータを変更して再度シミュレーションを行ったりするなど、試行錯誤してシミュレーションできる。	○	○	○	4
定期考査						1

2
学
期

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
				知	思	態	
3 学 期	〔単元名〕 第6章-1 プログラミングの方法	(1) 1 アルゴリズムとその表記 2 プログラミング言語 (2)CALL教室のPC端末・ネットワー ク、教科書、学習ノート	【知】・フローチャート、アクティビティ図、 状態遷移図の描き方を理解している。 【思】・基本制御構造（順次・選択・反復）を 適切に用いて、簡単なアルゴリズムを表現でき る。 ・作成したフローチャート、または文章表記が 正しいかどうか確かめられる。 【主】・アルゴリズムやフローチャートなどの 表記の作成に、興味や関心を持って試行錯誤す ることが出来る。	○	○	○	2
	〔単元名〕 第6章-2 プログラミングの実践	(1) 1 プログラミングの方法 2 関数を使用したプログラム 3 探索と整列のプログラム (2)CALL教室のPC端末・ネットワー ク、教科書、学習ノート	【知】・プログラミング言語のおもな種類とそ の特徴を理解している。 【思】・プログラミングの目的や実行するコン ピュータの種類を考慮して適切なプログラミン グ言語を選択できる。 【主】・プログラミング言語に興味を示し、実 際に自ら活用することが出来る。	○	○	○	12
	定期考査						1

豊多摩高等学校 令和5年度（1学年用）教科

教科： 総合的な探究の時間（人間と社会） 科目： 総合的な探究の時間（人間と社会）

単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科 総合的な探究の時間（人間と社会） の目標：

【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会の関わりの中から課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間（人間と社会） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 (1)指導事項 (2)教材・ICT等	評価規準	該当に○			配当 時数
			知	思	態	
〔単元名〕 事前学習 〔指導目標〕 総合的な探究の時間（人間と社会）についての理解を促す。	(1)指導事項 ・全体事前指導、班編成、活動方法 ・上級生の探究活動の実際を学ぶ ・SDGsについて (2)教材・ICT等 「人間と社会」教科書 BYOD端末	【知】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できる。	○			4
〔単元名〕 「人間関係を築く」 「学ぶことの意義」 「地域社会を築く」 「グローバル化が進む社会」 〔指導目標〕 人間と社会の在り方についての見方・考え方を身につけさせ、諸課題を追究したり解決したりする活動を行わせる。	(1)指導事項 ・「人間と社会」の教科書にある課題より、人間関係の構築、学ぶことの意義、地域社会、グローバル化が進む社会に重点をおき指導 (2)教材・ICT等 「人間と社会」教科書 BYOD端末	【知】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できる。 【思】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする。	○	○	○	8
〔単元名〕 学びに関する講演 〔指導目標〕 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる人間の在り方や学ぶことの重要性に気づかせる。	(1)指導事項 ・学びに関する講演会の実施 (2)教材・ICT等 講演資料 BYOD端末	【知】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できる。	○			2
〔単元名〕 事前学習 〔指導目標〕 地域との連携、SDGsとも関連させながら体験活動の意義を理解させる。	(1)指導事項 ・体験活動の意義 ・イチョウの薬腐葉土化プロジェクトについて (2)教材・ICT等 BYOD端末	【知】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できる。	○			3
〔単元名〕 体験活動 〔指導目標〕 体験活動を通じ、視野を広げながら探究活動の一方法を学ばせる。	(1)指導事項 ・近隣、公園等清掃、落ち葉回収、ギンナンの回収と配布 ・落ち葉とギンナンの利用についての検証 (2)教材・ICT等 BYOD端末	【思】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする。		○	○	12
〔単元名〕 個別学習 プレゼンテーション 〔指導目標〕 自ら探究テーマを設定させ、探究のプロセスを考えさせる。	(1)指導事項 ・探究の方法 ・個人研究の仮テーマ設定 ・仮テーマによるプレゼンテーション (2)教材・ICT等 BYOD端末	【思】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする。		○	○	4
〔単元名〕 研究に関する講演 〔指導目標〕 有識者による講演を聴き、具体的な研究の実際を学ばせ、次年度の探究活動へつなげる。	(1)指導事項 ・有識者による講演会の実施 (2)教材・ICT等 講演資料 BYOD端末	【知】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できる。	○			2